

ゆきの灯り

第32号
令和元(2019)年
9月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

子どもも交流会

8月8日(木)油木スポーツ広場にて4地区の協働支援センター合同でも交流会を開催しました。9時ごろから人が集まり始め、大人6人、子ども24人、合わせて30人もの方が参加し、関係者を含めて総勢47人でのイベントとなりました。

開会式後、レクリエーションを2種類行い、その後グラウンドゴルフ大会を行いました。昼食後、グラウンドゴルフ大会の表彰式と閉会式、記念撮影を行いました。行事が終了しました。



みんなで記念撮影

あつーいでも子ども達は元気いっぱい

一つ目のレクリエーションである宝探しは子どもだけが対象で、事前に隠してある紙を参加者が探し、見つけた参加者が賞品をもらえる。といったものでした。子ども達が元気に走り回り宝となる紙を探していました。なかなか見つからないものもありましたが、最終的には全部の宝を探し当てることになりました。

二つ目のレクリエーションであるOXクイズは参加者全員が対象で、神石高原町にまつわるOXクイズを出題し、残った人が景品をもらえるといったものでした。全部で3回行いました。OXクイズは難しい物もあり、少人数の方が正解となることもありました。

子ども交流会のメインといえるグラウンドゴルフ大会は、指導者の南ゆきGGクラブの人、協働支援センター職員、子ども、大人を混ぜて9チームで行いました。グラウンドゴルフをやったことがない子どももいましたが、全員楽しくコースを回っていました。



グラウンドゴルフで世代間交流



OXクイズを楽しむ参加者

専門部会

「農村環境維持・向上」専門部会

8月23日(金)に油木コミュニティセンター研修室にて「農村環境維持・向上」専門部会を行いました。

今年度より2年をかけて、農地利用の受け皿である担い手の負担を軽減する制度の策定を目指します。農事組合法人や企業・個人の方など7名が集まっていたいただき、第1回目となる今回は「経営を維持する上で抱える問題点の洗い出し」を話の中心としました。

1人ずつ聞き取り形式で行い、最後に共通の課題として次の2点に絞りました。

- ・高齢化にともなう労働力の不足
- ・有害鳥獣の被害

次回より対策を検討する話し合いを行います。

「ゆきなび」専門部会

伝統文化継承事業チーム結成!

8月9日(金)今年度第1回目の「ゆきなび」専門部会を行いました。「地域の伝統文化である神儀を映像化して保存しておきたい」という目的のために単独のチームを作ることが決まりました。一年に2カ所の撮影・編集を目標に取り組んでいきます。



昨年の神楽観賞会

また、今年度は神楽鑑賞会をゆきキッズクラブの伝統文化体験教室として、しめ縄作りと併せて開催することにしました。

住民の語りいの場

第1回化石魅力化委員会

化石魅力化の集い in 「にしかわ」

8月4日に「化石魅力化の集い」を開催し、地域おこし協力隊の尾森さんを講師に、大人から子供まで20数名の参加者で化石について学びました。ところで、なぜ油木で「化石」なのでしょう?

なぜなら、油木には海洋化石が出土する地層があるからです。これを「備北層群」と言います。

現在では協働支援センター分室「にしかわ」となっている西川酒店。その店主だった西川功さんはこの地層のみならず日本全国、果ては世界からも化石を集め、およそ6千点の標本が「にしかわ」に残されています。集いでは、この標本と功さん自身が開かれていた展示室の現状を見ながら化石の説明

在の姿を見ていただきました。今後の委員会ではこれらの活用を考えながら、保存と整理の実際の作業を体験していく予定です。



実物を見ながら化石の説明

次回 令和元年9月22日(日)午後1時30分～3時30分頃 取り組み

尾森さんのお手伝いとして目録制作に使用する化石の写真撮りなどをします。どなたでもお気軽にご参加ください。予約は不要です。

そこで新しく出たアイデアが2つ。

- ・昔(昭和30年代ごろ)の写真を集めて展示しよう
- ・西川化石標本の展示を「にしかわ」でみられるようにしよう

次回 令和元年9月30日(月)午後1時30分～3時30分頃 「まち歩き企画」と「写真展示企画」を併せ、その素材集めについて語り合います。

いちばとその周辺に思いのある方、写真や化石の展示に興味のある方、是非お気軽にご参加ください。



広島平和記念公園に献呈 神石高原 平和の千羽鶴運動

8月21日(水)に4つの協働支援センターで、広島平和記念公園に千羽鶴の献呈に行ってきました。今年は21万8千羽の折鶴が寄せられました。行きのバスの中で、山本剛久さんが、クイズ形式等で、原爆についての話をわかりやすくしてくださいました。現地では原爆の子の像の前で黙とうし、その後、千羽鶴を献呈しました。今年も町友会の方々が駆けつけてくださいました。献呈後、ボランティアガイドの皆さんに公園内を案内していただきました。平和記念資料館も見学し、平和について考える大切な一日となりました。

The Hanna Gospel Concert



9月1日(日)の午後より「ハンナゴスペルコンサート in ゆき」(主催: Mirai Jukan ハンナゴスペル招致委員会)が油木コミュニティセンター2階ホールにて開催されました。このコンサートは住民の有志の方々が企画し、『やりたい』

と思った事が実現できる地域にしたい」「文化的な催しで住民の心の満足に厚みを持たせたい」との思いから実現しました。実施に当たって何度も話し合いを重ね入念な準備が行われました。当日は雨の中にも関わらず開演前から多くの方が訪れ、50席余り用意された客席はほぼ満員。ゴスペルは本来キリスト教の宗教音楽です。コンサートは静かな讃美歌から始まりました。澄んだ歌声と美しい響きの重なり数曲目を傾けた後、やがてはゴスペルらしい活動的なテンポの良い曲に変わっていき、鑑



賞の方々も一緒になって拍手をし、リズムをとりました。コンサート終了後は合唱団との交流会も。主催者が準備した手作りのお菓子が振る舞われ、参加した方々も終始楽しそうに歓談の時間を過ごしていました。

焦がさないように気を付ける



大人の教室
手作りの豆腐に挑戦
8月1日(木) 高橋靖文さんを迎えて、豆腐作り体験教室を開催しました。普段なにげなく食べている豆腐を実際に大豆から作る教室です。豆腐を作る行程は単純ですが、豆腐を作ることは難しく時間や温度の関係で固まらない豆腐もあり、受講生の皆さんは悪戦苦闘しました。最後に試食をしました。「家でも作ってみよう」と感想もありました。



晒にステンシルをするキッズ

ゆきキッズクラブ
楽描き教室
8月19日(月)の楽描き教室は、晒にステンシルで色々な模様を描きオリジナル手ぬぐいを作りました。キッズたちは集中して作品づくりに取り組みました。その後で夏の花の「ひまわり」と「朝顔」の絵を描きました。

にしかわだより 裏庭にて

お盆に上陸した台風が通り過ぎて、油木の町もだんだん涼しくなりました。8月の終わり頃から、今年も「にしかわ」の裏庭に芙蓉(ふよう)の花が咲きました。



芙蓉の花(8月30日撮影)

西川酒店のご主人夫婦はお花がお好きだったようです。今も庭には春からいろいろな花が咲きます。季節を感じる素敵な庭です。ただ職員も手が回らず少し荒れてきています。作業がしやすくなる秋から、少しずつ手入れをしていきたいと思っています。「にしかわ」を訪れる方も気候が良い日は裏庭にて読書でもいかがでしょうか。私は「ピアガーデン」でもできればうれしいなあ」と夏の暑い日に思いました。奥津 照美

動物駆逐用火火安全講習会のご案内

動物駆逐用火は、火薬取締法に規定する火工品です。使用には煙火消費保安手帳(動物駆逐用)を取得することが必要です。手帳取得には、保安講習を受ける必要があります。取得後も年1回保安講習を受ける必要があります。次の日程により、講習会を開催しますのでご参加ください。

日時 令和元年10月31日(木) 場所 油木コミュニティセンター
受付 午後6時~6時30分 講師 株式会社ライズ
講習 午後6時30分~
持参品 写真(2.5×3cm)……新規希望者・再交付の方
※サングラス・着帽・背景のあるものは不可
煙火消費保安手帳……更新の方
料金 新規 5,500円 (本人負担 1,900円)
更新 2,500円 (本人負担 900円)
手帳を再交付または5年更新
5,000円 (本人負担 1,700円)

花火代金は当日購入に限り半額補助となります。
申込期限 令和元年10月15日(火)
新規の方は申込時に、住所・氏名・生年月日・電話番号が必要です。

地域の話題

ネパールからの視察団

8月1日(木)、「源流の里しんさか」にネパールからの視察団とその関係者13名が農産物の加工製品づくりの過程を学ぶため研修に來られました。

まずは地元案内でトウガラシ畑に行き、栽培方法などの説明。その後、新坂ふれあい会館に移動し、加工施設を立ち上げたきっかけや商品の製造・販売に関する課題とその解決策、現在の主力製品である「辛っこめん」の製造工程などを話しました。ネパール視察団の人は、農業を行っていても農産物の加工はこれまでやっていなかったと、通訳を交えながら熱心に研修を受けておられました。



記念撮影



研修中